

湖が縁 伊とテレビ会議 草津

・昨年九月にイタリア
ペルージャで開かれ

た世界湖沼会議をきつ
た地域間交流を深
めようと、両国の関係
者がテレビ会議で交
流した。

県側からは、湖沼会
議に参加した県立大の
上田洋平助教や認定N
PO法人びわこ豊穰の
郷(守山市)のメンバ
ーのほか、守山高校の
生徒などが参加。草津
市下物町の国際湖沼環
境委員会に集まった。
ペルージャ側は今春、
県立大と学術や学生交
流の協定を結んだペル
ージャ外国人大学の研
究者らが出席した。
インターネットのテ
レビ電話「スカイプ」
を使い、湖沼会議後の
近況や、それぞれの取
り組みを報告。「琵琶
湖での外来植物の駆除
に苦勞している。(ペ
ルージャの)トラジメ
ノ湖ではどうか」と質
問すると、ペルージャ
側は「外来植物の被害
はほとんどない。アシ
による水の浄化作用の
活用について研究して
いる」と答えていた。
会議後、上田助教は
「互いに先進的な取り
組みがあるはず。こう
したコミュニケーション
を通じて地域同士の
つながりができれば」
と話していた。

(井本拓志)



伊・ペルージャの大学関係者とテレビ会議で交流する人たち。草津市下物町の国際湖沼環境委員会で